

「天若湖アートプロジェクト2013」開催される

平成25年8月3日(土)・4日(日)、天若湖(日吉ダム湖)にて「天若湖アートプロジェクト2013～あかりがつなぐ記憶～」(天若湖アートプロジェクト実行委員会主催)が開催されました。

このイベントは、日吉ダムの建設によりダムの湖底に沈んだ、5つの集落の家々(122戸)のあかりを湖面にLEDライトを浮かべて再現するもので、今回で9回目の開催となりました。

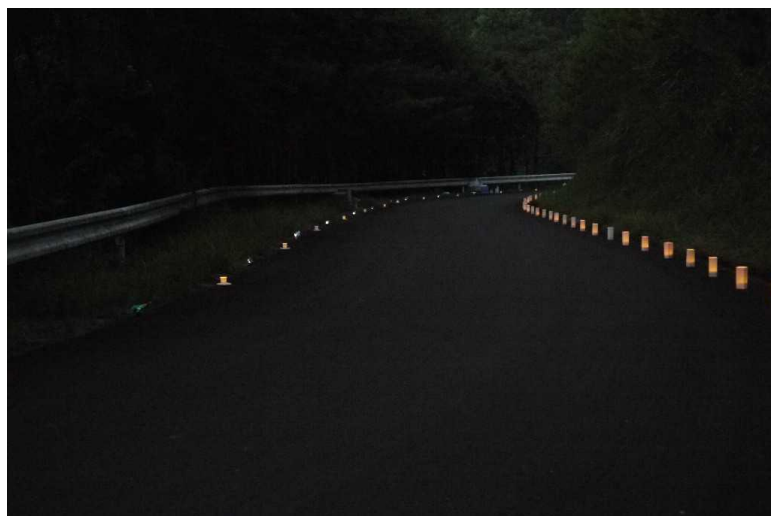
猛暑の中、実行委員会の大学教授や学生や林業女子会と、水機構職員らが連携し、「あかり」の設置作業や会場設営を行いました。

両日とも、無料観覧バスや京都市内からのツアーバスが運行され、参加者は大小の「アユねぶた」等の「足下あかり」に導かれ、幻想的な雰囲気の中、ダム湖を見渡せる世木林(せぎばやし)会場へと向かいました。

日が暮れると、湖面にほのかなあかりが浮かび上がり、参加者は、かつての集落の様子を説明者から聞きながら、当時の人々の暮らしや風景に想いをはせていました。



天若湖に浮かぶ集落のあかり



世木林会場への足下あかり



手作りのアユねぶた



足下あかりの設置位置確認